

平成30年度愛知県広報コンクール結果一覧

1 応募点数

(1) 広報紙部門	
ア 市部	20点
イ 町村部	3点
(2) ウェブサイト部門	
ア 市部	5点
イ 町村部	2点
(3) 写真部門	
ア 一枚写真	54点
イ 組み写真	25点
(4) 映像部門	17点
(5) 広報企画部門	7点
	計133点

2 審査員

愛知県立大学情報科学部講師

かすや ひでと
粕谷 英人

中部写真記者協会事務局長

こうむら たけし
神村 武司

愛知県立芸術大学美術学部准教授

さとう なおき
佐藤 直樹

中部映像関連事業社協会

そぶ え ゆういち
祖父江 雄一

中日新聞社編集局整理部デスク

はやかわ としひろ
早川 敏浩

愛知県振興部情報企画課課長補佐

みのうら まさゆき
箕浦 正幸

愛知県政策企画局広報広聴課長

いとう しゅうじ
伊藤 修司

3 入賞作品

部 門		賞	作 品 名	市町村名
広報紙	市 部 (20)	特 選	広報とよはし 3月号	豊橋市
		入 選	広報とよかわ 8月号	豊川市
			広報にっしん 1月号	日進市
	奨励賞	広報しんしろ「ほのか」 9月号	新城市	
	町村部 (3)	特 選	広報ひがしうら 9月1日号	東浦町
ウェブ サイト	市 部 (5)	入 選	春日井市ウェブサイト	春日井市
		奨励賞	豊川市ウェブサイト	豊川市
			犬山市ウェブサイト	犬山市
	町村部 (2)	奨励賞	東郷町ウェブサイト	東郷町
写真	一枚写真 (54)	特 選	広報にしお 3月1日号	西尾市
		入 選	広報とよかわ 8月号	豊川市
		奨励賞	広報春日井 10月1日号	春日井市
			広報とよた 3月1日号	豊田市
	組み写真 (25)	特 選	広報ながくて 1月号	長久手市
		入 選	広報にしお 9月1日号	西尾市
奨励賞		広報一宮 7月号	一宮市	
映像 (17)	特 選	平成30年度東浦町PR映像 『どんぴしゃ! 東浦』	東浦町	
	入 選	とうごうチャンネル Special Edition 夏の残照~つわものどもが夢の跡~	東郷町	
	奨励賞	ハートの絵馬	犬山市	
広報企画 (7)	特 選	「#たはら暮らしファンと一緒にたはらの魅力を発信!」フォトブック「たはらごよみ」	田原市	
	入 選	犬山市成年記念事業	犬山市	

* () は応募点数。

* 広報紙・写真・映像部門の特選作品、ウェブサイト・広報企画部門の入賞作品を全国広報コンクールへ推薦 (部分)。

A decorative border consisting of green leaves and small pink and purple flowers, framing the central text.

広報紙部門

総評

《佐藤審査員》

紙媒体に印刷されたものは、修正できません。もちろん訂正は可能ですし、回収するという手段もあります。しかし一度印刷という工程を経た後では、「それをなかったことにする」ことはできません。あれほど校正を重ねたのに、何故…。グラフィックデザイナーとして、幾度も頭を抱えた経験があります。しかしそうした手痛い失敗を経て、過信や思い込み、慣習に囚われず、公正かつ多様な視点から情報を見つめ直す、という姿勢が身についたように思います。

すぐに上書き修正できるものには責任が生じません。のちに及んでの修正が叶い難いからこそ、真摯にいまに向き合うことに必然性が生じます。広報紙の審査をして気付くのは、そうした修正の必要を感じる機会が驚くほど少ない、ということです。担当者の方々の自負が透けて見えるようで、出版業態もまだまだ健在、という気持ちを強くしたことでした。

《早川審査員》

本年の広報紙審査を終えて感じたことが三つあります。

一つは全体のレベルが上がってきたことです。特集だけではなく、各種の情報コーナーやコラムなど読みやすくなったと思いました。

二つ目は特集のテーマ選択がより重要になっていること。なぜ今それを選んだか説得力があるものが読者を引き込むことを再認識しました。

最後に課題ですが、いかに深みを出すかもう一工夫してほしいと感じました。自治体が発行している広報紙ですから反対意見を載せるのは難しいとは思いますが、しかし物事を多角的に見ることは大切です。

課題についても堂々と載せることで逆に市のやる気を見せることにつながるかもしれません。

編集については、見出しの言葉を重複させないことなど以前指摘した点は改善されてきました。さらにワンランクアップの工夫は見出しの文字数を揃えたり、語尾の音を揃えたりすることです。読むリズムが良くなります。文章を長くせずに、語句説明を独立させる、CGを活用して分かりやすくする手法も増えて嬉しく思いました。写真も色々な角度から撮ろうとする意気込みが感じられました。

差が出るとしたら隅々まできめ細かく編集しているかです。広報紙で市民を「もてなす」意識でさらに良い物を作ってください。

〈市 部〉

特 選

広報とよはし 3月号 豊橋市

発行回数	判 型	平均ページ数	発行部数	1部当たり の 経 費	担当者数
12	A4	36	129,000	21.48円	4人

◇ 審査講評

《佐藤審査員》

冒頭の特集企画「正しい飼育で救える命」は、年間約5万6千頭が殺処分されている犬・猫の問題を正面から捉えた秀逸な記事でした。読後に心が重くなるであろうことを、忌避することなく取り上げた編集方針に大きな評価が与えられました。写真や文章もことさらに恐怖感や嫌悪感をあおることなく、静かに語りかけるような心に残るものでした。全体のレイアウトもとても高いレベルでデザインが施されています。

《早川審査員》

まず表紙にインパクトがありました。ポツンと置かれた箱に入った猫。特集のコピーが目立つように置かれたシンプルなレイアウト。何が始まるのだろうという興味でページを開きました。東三河の「猫捨て場」というショッキングなキーワードが特集の出発点になったようです。社会的なテーマに取り組む必然性もあってか、重いテーマですが読み応えがありました。写真のセレクトも良かったです。暗い画像から温かみのある画像への変化が、課題を解決しようという気持ちを後押ししてくれるようでした。情報量も多く解決への具体的な手法も説得力があって実用的な特集です。あえて一つだけアドバイスです。テキストの流し方に矢印を付けてありました。読み間違いがないような工夫だと思いますが、逆に言えばこれがないと読者が迷う恐れがあるということです。矢印がなくても読み誤らないレイアウトを考えてください。



特集 正しい飼育で救える命

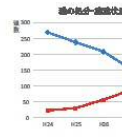
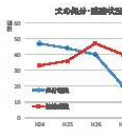


- 1.飼育された中でも飼われていた犬は、人離れこく近習って来ます
- 2.月1回駆虫薬を投与するガス室、約30年前は1日2回、駆虫したこともありましたが3.5年たった現在は、人に近づいた実験をする犬もいます
- 3.5年たった現在は、人に近づいた実験をする犬もいます
- 4.実験の目的で来た子猫がミルクを飲めるまでに回復した時の喜びはひとしおです
(上:21歳の子犬、下:4歳の子猫)

愛

愛知動物保護センターで、犬と人間の共生を促す取り組みが求められています。

人と動物が共生するまちを



愛知動物保護センターでは、犬と人間の共生を促す取り組みが求められています。

市では、むやみに引き取ることはしていません。飼い主に対しては、動物を保護する責任を促す取り組みを続けています。また、動物を保護する責任を促す取り組みを続けています。



特集 正しい飼育で救える命

愛知動物保護センター事務所にある犬舎。約30年前の建物は、現在は犬舎として使われていない。現在は、犬舎が壊れたままの状態です。

犬舎は、犬を飼育するための施設です。犬舎には、犬を飼育するための設備が整っています。犬舎には、犬を飼育するための設備が整っています。

入 選

広報とよかわ 8月号 豊川市

発行回数	判 型	平均ページ数	発行部数	1部当たり の 経 費	担当者数
12	A4	28	59,100	19.32円	6人

◇ 審査講評

《佐藤審査員》

表紙写真「夜空を焦がす伝統の炎」の迫力、特集企画の「古代からのメッセージ」の独自性、最後のページに至るまで目が配られたレイアウトデザイン等々、広報紙として非常に高いレベルで編集されています。優秀なスタッフが毎号楽しみながら制作しているのでは、と思わせる魅力あふれる広報紙です。

《早川審査員》

豊川市の広報紙は本当に写真が上手です。今年は「古墳」という地味で写真に変化をつけにくいテーマを選んだにも関わらず、バラエティがある絵柄で完成度の高い写真が並びました。古墳について予備知識がない読者にも分かりやすくするために的確なCGや細かい写真を使って理解を助けています。市民も故郷を再発見し関心を深めたと想像するとともに、市外の我々にも読み応えがある仕上がりです。古墳の土の色、繁る植物の色にマッチしたページの色遣いもセンスが良いと思います。毎年レベルの高い広報紙を仕上げていることに敬意を払います。

夜空を焦がす
伝統の炎



古代からのメッセージ ~とよかわの古墳~

<MY COLOR> 農学博士 鈴木 高広さん

古代からのメッセージ ~とよかわの古墳~

3 念仏塚1号墳 (大古墳)

5世紀中ごろ～7世紀初頭
かつては8基の古墳群だったが、現在は全長約50mの前方後円墳1基だけが残る。古墳群から人物をかたどった形象埴輪が出土した。



2 炭焼(平)古墳群 (中古墳)

5世紀後半～7世紀後半
かつては40基以上存在していたが、現在は全長約16mの前方後円墳と数基の円墳が残る。鳥形の埴輪が焼かれた土が出土した。



4 赤塚山1号墳 (古古墳)

5世紀前半～7世紀初頭
赤塚山公園の「歴史エリア」にある直径約17mの円墳。現在は土をかぶせられ小山の下に保存されている。



5 穴観音古墳 (中古墳)

7世紀後半
直径約20mの円墳。竊穴式石室が良好な状態で残り、市内に残存する古墳の中で、石室の中をのぞくことができる数少ない古墳。



6 船山古墳 (中古墳)

5世紀前半
全長約37mの前方後円墳。並置されたと思われる穴があるが、今でも前方後円墳の形を美しく残す。

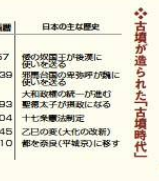
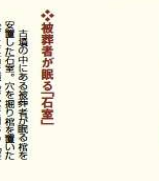


とよかわ 古墳まつぷ

市内にはさまざまな特徴を持つ古墳があります。消滅してしまつたものも多くありますが、今もなお、古墳の形をしっかりとまらに存在し続けています。ここでは、市内に残存する主な古墳を紹介いたします。

古墳が造られた時代

古墳の造り手は、大和政権の勢力が全国に広がる古墳時代です。この時代には、大和政権の勢力が全国に広がる古墳時代です。



毎玉 (中野) 古墳群出土

海解葡萄酒 (市内出土)

門前埴輪 (上野古墳群出土)

竊穴式石室

竊穴式石室

竊穴式石室

竊穴式石室

竊穴式石室

入 選

広報につしん 1月号 日進市

発行回数	判 型	平均ページ数	発行部数	1部当たり の 経 費	担当者数
12	A4	40	39,060	23円	4人

◇ 審査講評

《佐藤審査員》

「小牧長久手の戦い」の主戦場の一つとなった「岩崎城の戦い」を取り上げた冒頭の特集企画は、歴史ブームと相まって読者の関心を引くものとなったのではないのでしょうか。歴史は街の財産です。もう一步踏み込んで、古戦場の現在のすがた（街の在り方）にまで記事が展開されると、読み応えが増すように思います。

《早川審査員》

情報がぎゅっと詰まった印象を感じました。「岩崎城」という地元の歴史的資産がテーマです。歴史物はいずれ専門的になりすぎて難解になるケースがありますが、Q&A方式を上手に使い短い文章をつなぐことにより、読みやすくなりました。CGのデザインも良かったです。戦いの構図、展開が視覚的に理解できました。コンテがしっかりしています。表紙の写真も素敵です。種明かしがあって、コラボした番組にも興味が湧きました。特集以外のコラムもとても面白かったです。



広報にっしん

Misshin

2018
1
http://www.city.nishin.lg.jp/
No.756

新春特集

岩崎城の戦い

岩崎城関連年表

- 1528～1531年頃 岩崎城が堀田信秀(信長の父)により築城される
- 1529年 松平清康(家康の祖父)が岩崎城を奪う
- 1538年頃 氏康が岩崎城を居城とする
- 1539年頃 氏康が妙心寺を現在の場所に移す
- 1550年 氏次、岩崎城で出生
- 1551年 徳山の戦い(信長が丹羽氏の内訌争いへ介入)
- 1562年 氏康、信長に仕える
- 1568年 信長による六角征伐(氏康参戦)
- 1569年 信長による伊勢北畠征伐(氏康・氏次参戦)
- 1570年 信長による石山本願寺征伐(氏康・氏次参戦)
- 1570年 姉川の戦い(氏康・氏次参戦)
- 1572年 三ヶヶ原の戦い(氏次参戦)
- 1575年 長輪の戦い(氏次参戦)
- 1577年 信長による榑葉・榑葉一揆征伐(氏康参戦)
- 1580年 氏康が信長により追放され、氏次が岩崎城を居城とする
- 1582年 氏次(氏康)に氏次参戦
- 1582年 本郷中夜(堀田信忠・信忠死去)
- 1582年 山崎の戦い
- 1583年 幾ヶヶ原の戦い(堀田信忠参戦)
- 1584年 小牧・長久手の戦い(岩崎城の戦い)
- 1590年 豊臣秀吉が天下統一
- 1600年 関ヶヶ原の戦い(氏次参戦)
- 1600年 関ヶヶ原の戦い(信長)により丹羽氏三河伊豆(堀田信忠)が没落し、一方の氏康の嫡子となり、岩崎城は居城になる



秀吉側

約6,000人

池田恒興
三河中入りを進言し岩崎城を攻めたが長久手の戦いで討死し、子の憲政は後の居城城主。

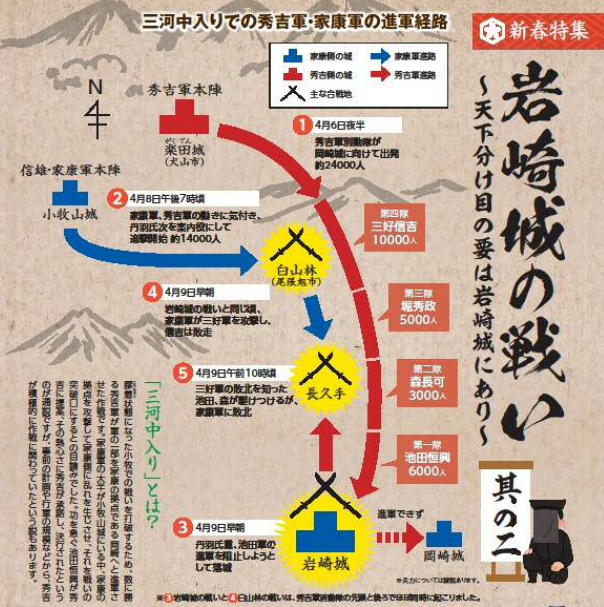
堀秀政
三河中入りの部隊が攻め、家康軍に敗れる中、局地的ではあるが唯一勝利を収めた。

森長可
池田恒興の嫡孫。恒興と共に三河中入りを進言。岩崎城を攻めたが長久手の戦いで討死し、本郷寺の堂で後継と運命を共にした義賢は弟。

三好信吉(豊臣秀次)
秀吉の甥。岡崎城に向けた三河中入り部隊に総大将として進むが大敗を喫した。

羽柴秀吉(豊臣秀吉)
この頃には豊臣の後継者として認められない地位を確立していたものの、天下統一の途上であり、近畿地方でも戦っていることから小牧に全精力を投入できない状況だった。

約100,000人



小牧長久手の戦いとは?

戦国時代の英雄、秀吉と家康が直接対決した唯一の戦い。両者は小牧と家康の陣地を対峙しましたが、数で勝るはずの秀吉軍が野戦の名手である家康軍の機転を見せず、膠着状態に陥りました。秀吉は家康の拠点である岡崎城を攻め取るため軍の一部を差し向けます(三河中入り)が、家康軍に察知され、途中の長久手で敗北を喫しました。

秀吉と家康の争い ~なぜ起こった?「小牧長久手の戦い」~

本能寺の夜で信長とその長男豊臣が亡くなると、後継者をめぐり家臣間の対立が深まりました。家臣団の重鎮、堀田家(信長の三男、豊臣を推し、やがて両者は取り戻し存在を確立していた)は信長の子である三法師を推し、やがて両者は「幾ヶヶ原の戦い」で衝突することになります。この戦いで勝利した秀吉は信長の後継者としての地位を固めますが、信長の次男、信忠との関係は悪化していききました。秀吉に協力できなかった信忠は家康と手を組み、その対立構造がやがて小牧長久手の戦いに繋がっていきることになります。

岩崎城とは?

室町時代末の享禄年間頃(1528～1531)に堀田信長の父である信秀によって築かれたとされる平山城です。石垣は全く残りのものですが、本丸、二の丸や櫓を有する本格的な城であったと推測されています。関ヶヶ原の戦い以後丹羽氏が三河に暮らさず岩崎城となっていました。1987(昭和62)年、戦国天守が復元され、公園として整備されました。

戦は東尾張以外にも拡大

「小牧長久手の戦い」の名称から豊田県下で起こった戦いと思われがちですが、岐阜・三河までを戦場とし、また運動した合戦が北陸、関東、四国でも起こっており、全国的な戦役であったといえます。

戦い

奨励賞

広報しんしろ「ほのか」 9月号 新城市

発行回数	判 型	平均ページ数	発行部数	1部当たりの経費	担当者数
12	A4	32	16,840	44円	4人

◇ 審査講評

《佐藤審査員》

二つの特集記事「ニューキャッスル アライアンス会議」と「新城を食す 五平餅編」の両者ともに、新城という地の魅力と独自性を十分に表現した魅力的な内容になっています。特に後者は市民編集委員が企画・取材したものとのこと。広報活動の取組として大いに評価できるものです。

《早川審査員》

表紙の俳句風のコピーと美味しそうな五平餅の写真でワクワクしながら特集を開きました。NHKの朝ドラで登場して人気が上がった五平餅という身近な食べ物を真面目に深く掘り下げて、郷土再発見につなごうとする意図が汲み取れました。レイアウトや色遣いも楽しんで読める手助けをしています。作り方も写真を絡めて丁寧で、実用的な要素も充実した内容に仕上がっています。写真もバリエーションをつけて、見せたいものはしっかり見せています。



焼きたての
みその香りに
包まれて

主な内容

- ニューキャッスルアライアンス会議2018..... P4
- 特集** 新城を食す ～五平餅編～..... P8
- 子ども園案内..... P17
- 作手でお試し移住体験..... P18



「ほのかが」スマホへ
配信しています！

「いろいろな味や形」
五平餅は奥三河地方の郷土料理で、白米をすりつぶしたご飯（白米）を丸めて串につけて焼き、甘みそを塗って焼き上げた、奥三河地方ではよく食べられている郷土料理です。最近、この五平餅が朝の連続ドラマに登場したことから注目されています。多くの皆さんは食べたことがあると思いますが、五平餅はそもそもどのような食べ物なのかご存じですか？今回は、この地域に伝わる五平餅の歴史やレシピなどを紹介します。



五平餅は奥三河地方の郷土料理で、白米をすりつぶしたご飯（白米）を丸めて串につけて焼き、甘みそを塗って焼き上げた、奥三河地方ではよく食べられている郷土料理です。最近、この五平餅が朝の連続ドラマに登場したことから注目されています。多くの皆さんは食べたことがあると思いますが、五平餅はそもそもどのような食べ物なのかご存じですか？今回は、この地域に伝わる五平餅の歴史やレシピなどを紹介します。



この特集は、市民編集委員が
企画・取材しました。

五平餅編
新城を食す!!

五平餅は、すりつぶしたご飯（白米）を丸めて串につけて焼き、甘みそを塗って焼き上げた、奥三河地方ではよく食べられている郷土料理です。最近、この五平餅が朝の連続ドラマに登場したことから注目されています。多くの皆さんは食べたことがあると思いますが、五平餅はそもそもどのような食べ物なのかご存じですか？今回は、この地域に伝わる五平餅の歴史やレシピなどを紹介します。



〈町村部〉

特 選

広報ひがしうら 9月1日号 東浦町

発行回数	判 型	平均ページ数	発行部数	1部当たり の 経 費	担当者数
21	A4	48	15,950	35.25円	2人

◇ 審査講評

《佐藤審査員》

町村部門では応募が3点と寂しい状況でした。町村部の積極的な応募を期待しています。その中で、東浦町の広報紙は表紙写真の素晴らしさ、特集の規模・内容の読み応え、その他記事の充実など、人口規模の大きな市部の広報紙に劣らないクオリティを見せてくれました。高く評価します。

《早川審査員》

赤ちゃんが並ぶ可愛い絵柄の表紙写真が良かったです。町が運用を始めた「子育て世代包括支援センター」の紹介と、具体的に困った時の相談先が利用者の声とともに出ているので親しみやすさを感じました。Q&Aやチャートも上手に使い分かりやすく仕上げられています。笑顔の写真が多く町全体で子育てのサポートをしようという雰囲気伝わりました。市部の広報紙に並ぶような力作です。



子育て特集 もっと頼って!もっと使って! 子育てサポート

- 実施します 家庭系可燃ごみ処理有料化……………P16～19
- 教えて! 神谷町長「小中学校へのエアコン設置」……………P21
- よむらびコンサート/秋の伝統行事……………裏表紙

表紙写真…7月31日(火)
うららんに遊びに来てくれた赤ちゃん
とっても可愛いですね。赤ちゃんタイム



子育て特集 子育てサポート

イマドキ? ママ・パパの悩み

うららんや保育園センターに来ていたお母さん・お父さんに子育てでの不安や悩みを聞いてみました。



東郷志ゆみさん
輝樹くん(2歳)
出産前なのに上の子が毎段より
甘えん坊になってきています。実
際に下の子が生まれたときの赤
ちゃん返りがすこし心配です。

春日谷理恵さん

優月ちゃん(6歳)
千夏ちゃん(3歳)
仲よく一緒に遊んでくれるの
は嬉しいけれど、よくケンカを
しています。うまい仲直り方法が
あれば知りたいです。



松井寿樹さん
美咲ちゃん(4歳)
結菜ちゃん(2歳)
すこし食わず嫌いなと
ころがあります。うまい
とっかかりがあれば知り
たいです。

子育ての不安や悩みは多種多様…。
その不安や悩みを相談できていますか?

東浦町では

妊娠中の不安なとき、育児の悩みがあるとき、
身近に頼れるお友達や相談相手がいたら心強い
ですね。
町ではそのきっかけづくりのお手伝いができ
るよう、さまざまな事業を行っています。



子育て特集

もっと頼って!もっと使って! 子育てサポート

仕事や家事に育児と、日々頑張っている
お母さん・お父さんのエネルギーはガス
欠寸前。それでも愛する子どものためにと
日ごころ無理をされていますか。
今回の子育て特集では、頼れる相談相手
や使えるサービスなど「子育てをたのし
む」ための耳より情報を紹介します。

A decorative border consisting of green leaves and small purple and pink flowers, framing the text.

ウェブサイト部門

総評

《粕谷審査員》

近年、スマートフォンの普及が飛躍的に進み、パソコンの利用者を超えるようになりました。多くの自治体がスマホ対応のウェブサイトを用意し、そのような利用者が安心して便利に情報を入手できるようサービスに力を入れています。また、自動翻訳の技術進歩も目覚ましいものがあり、日本語で発信している情報をそのまま多言語対応のウェブサイトとしてサービスが行われています。さらに、情報発信の観点からは、CMS技術を用いることで、ウェブサイト専門の部署ではなく、各サービスを専門とする部署が情報発信を行う方法が定着してきたと感じられます。提供される情報は、どの自治体ウェブサイトでも、住民が必要とするものがそろっていることがわかりました。今後はより各自治体の特色を生かしたウェブサイト作りに期待します。

《箕浦審査員》

市町村のウェブサイトは、住民の暮らしに密着した情報を提供すること及び住民以外の方にも自治体の魅力を発信することが主な目的であり、各市町村によって掲載すべき情報に大きな差はない中で、さらに、CMSの普及により画一化が進んでおり、各自治体の個性や特長が出しにくくなっていますが、住民ニーズの変化や技術の進化に対応して、分類やコンテンツの配置等の利用者視点に基づいたウェブサイト内構造の見直し、検索機能の拡充、スマートフォン版ホームページのデザイン変更、アクセシビリティやユーザビリティの向上など様々な取組が行われています。今後も各市町村の独自性に関する情報発信の強化に努めていただければと思います。

なお、町村部におかれましては、ここ2年同じ町からの応募という状況になっておりますので、まだ一度も応募されていない町村からの応募を期待します。

〈市 部〉

入 選

春日井市ウェブサイト (https://www.city.kasugai.lg.jp/)

春日井市 kasugai City

文字サイズの変更 小さくする 元に戻す 大きくする

背景色の変更 Other languages サイトマップ

イベントカレンダー Event Calendar

展示 近現代の書

改元記念企画展「近現代の書」

イベントを探す

再生 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 詳しく見る

ホーム 市民生活ガイド イベント 施設案内 市政情報 事業者向け情報

バナー広告 OKB 大塚 井 立 銀行

緊急Twitter

更新頻度 (平成 30 年平均値)	アクセス件数 (平成 30 年平均値)	制作・更新者
120 回/月	713, 748 件/月	各課で分担

◇ 審査講評

《粕谷審査員》

どのページを閲覧していても、シティプロモーションと、子育て情報、シニア情報へとすぐアクセスできるようになっています。コンテンツ発信の姿勢が強く感じられます。また、広報紙とのQRコード連携などイベント情報の発信に力を入れています。一方で、トップページは情報の並べ方にまとまりがなく感じられますので、その点を工夫して、もう少し落ち着いて閲覧できると使いやすさが増すと考えられます。

《箕浦審査員》

トップページ左側上部の3色バナーの、シティプロモーション、子育て世代、シニア向けの情報ページについては、どういう方に何を伝えたいかという市としてのコンセプトが明確になっています。また、トップページ中央部に3種の方法で検索できる検索窓があり、全体的に閲覧しやすく探しやすいサイトになっています。

奨励賞

豊川市ウェブサイト (https://www.city.toyokawa.lg.jp/)



更新頻度 (平成 30 年平均値)	アクセス件数 (平成 30 年平均値)	制作・更新者
1,700/月	206,423 件/月	各課で分担

◇ 審査講評

《粕谷審査員》

情報が探しやすい、全体を見渡すことができるページ構成はとても完成度が高いです。各情報ページには、関連する情報や担当への問合せフォームのリンクが用意されており、使いやすさへの気配りが感じられます。今後はウェブページのリニューアルに期待したいです。

《箕浦審査員》

コンテンツの内容や利用者の年齢によっては、パソコンより利用率の高いスマートフォンについて、リニューアルされたスマートフォン版ホームページのトップページに、大きなアイコンを設置したりするなど、アクセシビリティに配慮されたすっきりしたデザインになっています。

奨励賞

犬山市ウェブサイト (https://www.city.inuyama.aichi.jp/)



更新頻度 (平成30年平均値)	アクセス件数 (平成30年平均値)	制作・更新者
30回/月	59,879件/月	担当課

◇ 審査講評

《粕谷審査員》

すっきりしたウェブサイトの構成で情報を探しやすく、好感が持てます。暮らしの情報に加え、観光情報が充実しているので遊びに行きたくくなります。機能的ですがややアピールが弱いので、もう少しデザイン性のあるウェブサイトになってもいいのではないのでしょうか。

《箕浦審査員》

シンプルなページ構成で各コンテンツの配置も整理されており、視覚的に見やすいサイトになっていると思います。子育て世代に対する子育て応援アプリや犬山城を中心とした観光情報の提供など、市としてのウェブサイトに対するコンセプトが明確になっています。

〈町村部〉

奨励賞

東郷町ウェブサイト (https://www.town.aichi-togo.lg.jp/)



更新頻度 (平成 30 年平均値)	アクセス件数 (平成 30 年平均値)	制作・更新者
4, 078 回/月	161, 535 件/月	各課で分担

◇ 審査講評

《粕谷審査員》

子育てにやさしい町づくりをしていることが感じられるウェブサイトです。トップページのメニューの並べ方やアイコンを切り替えるタブなどで工夫が感じられ、他の自治体ウェブサイトと比べ特徴的で面白いですが、その部分が使いやすさにつながっていない印象を受けます。独創性と使いやすさの両立が期待されます。ボート競技のイラストがかわいいですね。

《箕浦審査員》

町の重点事業である子育て関連の特設ページを設置し、目に付く場所に配置しています。また、キッズページは親しみやすいキャラクターの対話形式などの構成で、子どもにも理解しやすいページづくりに努められています。なお、毎年応募されておりますが、リニューアルした点が少ないように思われますので、新たな取組を期待します。



写真部門

総評

《神村審査員》

「一枚写真」31市町・54点、「組み写真」15市町・25点の応募がありました。このコンクールは全国広報コンクールにつながっています。1994年に日本広報協会により全国の各自治体の広報紙の更なるレベルアップに寄与するために制定されました。自治体の広報広聴の役割は地域住民の豊かな暮らし、安全安心への情報伝達に欠かせません。

情報社会は平成時代に入り急速なデジタル化が進んでいます。広報紙も紙媒体から電子化への時代に入ってきました。こうした状況の中でいかに親しみの持てる「読んでもらえる、見てもらえる」コンテンツを住民に提供できるか、各自治体に求められています。

いかなる媒体であろうがビジュアル化は必須の要素となっています。その中で「写真」の存在は大です。写真の歴史はたかだか200年弱にすぎません。しかし今や誰しものが「カメラマン」の時代です。新聞、テレビで視聴者提供の映像を目にするのは日常茶飯事となっています。

新しい感性から斬新な作品が生み出され、また映像を見る眼も着実に向上しています。このほど岐阜市では「広報ぎふ」で一面カラー写真のテーマと連動した動画の配信を始めました。表紙の写真右下に記された二次元コードをスマホで撮影し市の公式YouTubeチャンネルにつなげ視聴する仕組みです。

広報紙もイノベーションの時代に入ってきています。

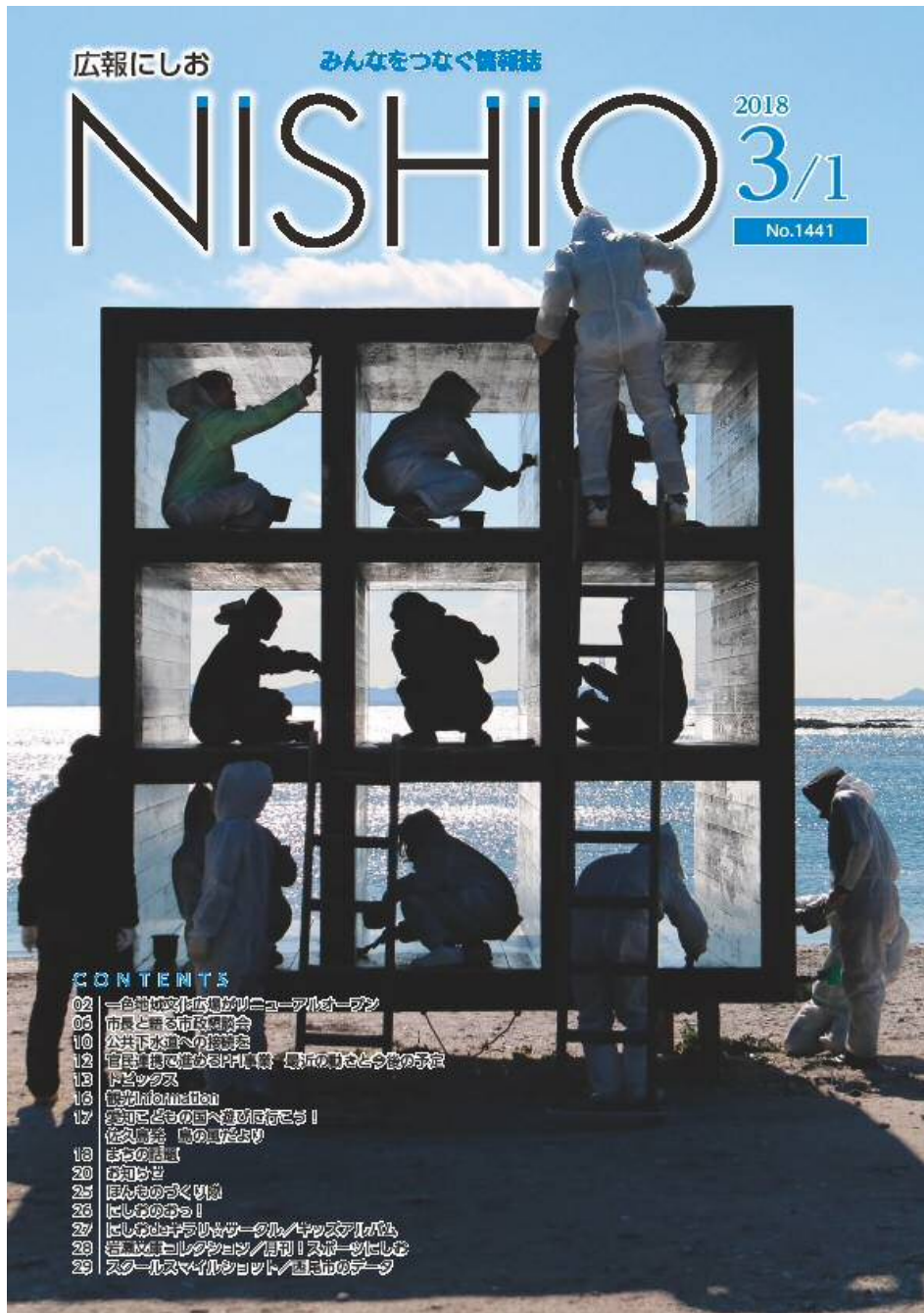
今後は広報紙づくりに携わる人たちもスチール写真だけでなく動画撮影も要求されるでしょう。しかし基本は「一枚の写真」のレベルを上げるに尽きます。これからは技術的なことよりも撮影以前の心構えと被写体に対する感性が求められます。読者の眼は肥えてきています。

応募された「一枚写真」は、いつもレベルの高い作品が多く審査を悩まされますが、「組み写真」はあと一步の感があります。今回の写真部門の応募は県下の自治体の約半分に過ぎません。広報紙が発行されていないのでしょうか？応募に足る写真がなかったのでしょうか？とても残念に思います。ぜひともあなた方の広報紙から「この一枚」を選び、この審査の土俵に上げましょう。

〈一枚写真〉

特 選

広報にしお 西尾市 (3月1日号、表紙)



◇ 審査講評

アートな島として今人気高まる佐久島。なかでもシンボリックな作品「おひるねハウス」。見慣れたスポットですが「あれっ」と思わず印象的な写真です。撮影者の作画センスが光っています。逆光できらりと輝く海、アート作品の四角いマスの中で補修のために黒いペンキ塗り作業をするボランティアの人たち一人一人のシルエット姿が面白くこの作品を引き立てています。

入 選

広報とよかわ 豊川市 （8月号、表紙）



◇ 審査講評

豊川市の夏祭りのハイライトは伝統の手筒煙火の奉納です。夜空を焦がし、降り注ぐ火の粉を一身に浴びながら微動だとしなない勇壮な男性の姿を見事に捉えています。よく見る被写体ですが狙い定めた一瞬をものにした秀作です。撮影以前の作画意図が活かされています。迫力のある力強い作品です。

奨励賞

広報春日井 春日井市 (10月1日号、表紙)



◇ 審査講評

今、「就活」ならぬ「終活」が話題になっています。人生百年時代にと超高齢化社会を迎えています。「ハッピーエンディング」でありたいです。この写真ではお年寄りの自然な会話の中から出た素敵な笑顔がいいです。この瞬間すかさずシャッターを切りましょう。このような撮影ではシャッター以前に被写体とのコミュニケーションを十分とることがいい写真への一歩です。

奨励賞

広報とよた 豊田市 (3月1日号、表紙)



◇ 審査講評

祭りには多くの写真愛好家がいいアングルを求めて早くから場所取りする姿があります。「裸まつり天下祭」でもシャッターを切りまくっていたことでしょう。祭りのハイライトは木製の玉に触れようと激しくもみ合う「玉競り」。特設されたやぐらからの俯瞰写真がはだか男たちの生き生きとした表情を捉えています。

〈組み写真〉

特 選

広報ながくて 長久手市 (1月号、2～3ページ)



◇ 審査講評

「写真で見えるながくて」の企画いいですね。市民に親しまれる広報紙づくりの一つにはビジュアル化を図ることで。今回は愛知駅伝での大躍進を取り上げられています。思いは一つタスキに込めてつないでいく様子が伝わってきます。メインの一枚の写真を見開きに展開したレイアウトが効果的です。ぜひこのページを活用し良質の写真グラフに挑んでください。

入 選

広報にしお 西尾市 (9月1日号、6～7ページ)

西尾市野球界の歴史にその名を深く刻む
**西尾東高校野球部、
 夢と感動をありがとう!**

7月1日～27日に開催された第100回全国高校野球選手権記念東愛知大会で、西尾東高校が堂々の準優勝を取めました。夢の甲子園出場まであと一步飛ばせませんでした。シード校を次々と破る快進撃ぶりは高校野球ファンのみならず、多くの市民を魅了しました。準決勝以降の勇姿を写真で振り返ります。

準優勝はチームが一丸となって戦った結果、勝ち上がるごとに強くなった。惜しかったが、良くやってくれた(寺澤康明監督)

◆ ◆ ◆ 今大会の軌跡 ◆ ◆ ◆

- ・2回戦・新緑高校戦…17対11。4回裏に猛打がさく裂、1イニング10得点を挙げ、異色の5回コールド勝ち
- ・3回戦・豊橋東高校戦…8対7。9回2死までリードを許すが、木村優友選手の一振りで逆転サヨナラ勝ち
- ・4回戦・西尾高校戦…12対5。初回に5失点するも、遠藤から点を積み重ね、7回コールド勝ち。多くの注目を浴びた「西尾ダービー」を制する
- ・準々決勝・豊橋中央高校戦…7対3。7回裏に中村真人選手が3ランホームラン。チャンスを生かし、シード校を撃退。3回日のベスト4入りを果たす
- ・準決勝・豊川高校戦…10対3。エースの藤村翔吾選手が好投。強豪・豊川を封じ込める。木村優友選手の一打で7回コールド勝ちを決める。初の決勝進出
- ・決勝戦・徳島大三河高校戦…1対3。2回に先制するも、7回に逆転を許す。9回の攻撃でしごくと粘りを見せるが相手投手の好投に阻まれ、試合終了

争いだった瞬間の瞬間

平成30年9月1日号 NISHIO 6

◇ 審査講評

あと一步で夢の甲子園へ。さぞや地元は沸き上がったことでしょう。第100回全国高校野球東愛知大会で準優勝した西尾東高校の活躍ぶりが熱く伝わってきます。ナインが整列している写真が4カット組み込まれています。準優勝メダルをかけたナインの写真に絞ってレイアウトすればさらにすっきりとした紙面になったかと思います。

奨励賞

広報一宮 一宮市 (7月号、10～11ページ)

第63回おりの感謝祭

7月26日(木)～29日(日)

いっぺんいりやーせ

舞・踊動

一宮七夕まつり
ウェブサイトはこちら

【問】一宮七夕まつり協進会
(商工観光課内) 直(28)9131

行儀事の内容案内はハローダイヤルへ
直050(5548)8686 (7月1日(日)以降)

一宮七夕まつり協進会
〒991-8501 一宮市本町1-1-1
TEL: 050-5548-8686

七夕まつりで待っています!

会場周辺の交通規制を実施
～無料シャトルバスを運行～
一宮市民会館の駐車場を無料開放し、本行者前まで無料シャトルバスを運行します。
交通規制日は7月9日(日)から本庁舎1階総合案内・商工観光課、尾西・木曾川庁舎、出張所で配布します。

火災予防のご協力を
～特別警戒区域を指定～
七夕まつりの飾り付けは燃えやすい物が多いため、期間中、次の区域を特別警戒区域に指定します。
区域内では、たき火や煙火での喫煙が制限されます。喫煙は消防署施設など市の指定した場所に限り、▽本町1丁目1～4番、本町2丁目、本町3丁目1～4番・7～10番、真満田1丁目、栄1丁目9～11番、栄3丁目、新生1丁目1番地内

恵子の方をサポートします(無料)
▼日 時 / 期間中の午前10時～午後5時
▼申し込み / 7月25日(木)までに電話で七夕まつり協進会

▼26日(木) / オープニングセレモニー
▼27日(金) / フォッショー・いちのみや
▼28日(土) / TANABATAダンスコンテスト
新法華歌大行演
▼29日(日) / セタスペシャルミニライブ
ユスブレバレード
▼会 期 中 / 盆踊り大会
七夕まつり宣伝ポスター展
ひまわりフォレスト

※他にも多くの協賛行事があります。詳しくは、一宮七夕まつりウェブサイトをご確認ください。行儀事は中止・変更する場合があります。

ミス七夕
両戸麗子さん 山口真季さん

ミス七夕クイーン
渡邊夕美さん 田中麗菜さん

ミス踊物
寺田美桜さん 川井裕紀さん

チャリティーサイン会、打ち水大作戦、人力車七夕道中などに参加します!

11 2024年6月20日 7月号 広報一宮

2024年6月20日 7月号 広報一宮 10

◇ 審査講評

「そうだ！一宮の七夕まつり」、「楽しそうだな、一度行ってみようか」と思わせる紙面になっています。まつりのテーマカラーの赤を基調にしたレイアウトが効果的です。いきいきと舞い踊り熱くまつりを盛り上げる人々を浮き立たせています。写真は前年に撮影されたものですが今回はさらに良い写真が撮れたことでしょう。「いっぺんいりやーせ」の効果はいかがでしたか。

A decorative border consisting of green leaves and small pink and purple flowers, framing the central text.

映像部門

総評

《祖父江審査員》

特選・東浦町と入選・東郷町は企画・構成・演出・技術力とも群を抜いた作品で苦渋の選択でした。東郷町の作品は見応えのあるものでしたが、ドラマ展開の東浦町に軍配が上がりました。全国コンクールでの闘いを見据えての選択と言っても良いでしょう。また、犬山市は自主制作でないとあの良さは出なかったでしょう。つまり、技術力というより、テーマの訴求と、そのための構成・演出力がポイントになります。

個別に見ていくと、豊橋市は自主制作だけに素直さはわかりますが訴求点が見えませんでした。

岡崎市はスタジオ展開にドラマ挿入と工夫を凝らして制作。MCに感情移入があっても良かったのでは。

一宮市はオープニングが良かった。インタビューものだけに音の収録に注意を払ってください。

瀬戸市は散策しながら展開して欲しかった。BGMで抑揚をつけてください。

春日井市は対象の人の紹介が欲しい。市外の人に分かり易い工夫をして欲しい。

豊川市はカッコ良い作りでした。ただ、豊川市の消防の色が欲しかった。

刈谷市は飽きさせない工夫はしているがアニメキャラはなくても。また、カップルを導線にするなどストーリー化しても良かったのでは。

豊田市はドローンのドリー使用は良かった。OLで説明を入れて欲しい。

小牧市はゆるキャラの使い方が今までで一番良く、広報担当も生きていて良い味が出ていた。

稲沢市はリポーターが自然体で良い。それだけに演者に動きをつけたり、カメラ移動で迫る演出があっても。

大府市は核となる広島訪問が写真での活動報告なのが残念。生徒がそこで観た驚きは何より訴える力では。

日進市は10分が長く感じないようなカメラワーク、編集、音効に工夫を凝らしてほしい。10年連続特選の実績はどうしたのでしょうか？

田原市はオープニングのアニメの良さが続かなかった。本編でもアニメを効果的に挿入できた。ラストのモノログは実写を使うならモノトーンで表現をして欲しい。

長久手市は正統派のつくり。敢えて何かをとると主人公の一日を追う、もしくは子どもの目線（カメラ）で見るというのも良かったのでは。工夫の仕方で興味を持ってもらえる作りになったのでは。

総評で一番に言いたいのは、訴求テーマをいかにして伝えるか。その道具としての技術をどのように使うかです。ですから、自主制作でも十分に広報番組は成立すると思います。

私が審査して20年。映像表現の進歩は速い。「ドローン」を使用した作品が6本。私が訴え続けてきた「映像と音効のチカラ」で表現した作品が5本。平成最後に皆さんの進歩と広報番組の明るい未来を感じました。

特 選

平成30年度東浦町PR映像『どんぴしゃ！東浦』 東浦町

収録時間	経費	年間制作本数	放映方法
15分	3,564,000円	1本	YouTube 庁舎等施設ロビー等

◇ 審査講評

昨年度、自主制作作品で奨励賞を獲得。初の特選獲得です。委託制作作品でしたが、訴求テーマ、制作意図は東浦町の指針があってのことです。

また、昨年度と変わり、ドラマ展開での作品が特選となりました。架空のPRメンバーを発足したものの彼ら自身が「東浦町には何もない」といわゆる「ディスリ」始めるところから始まり、果たして調査に走る。施策、自然、祭事などが生活に溶け込んだ良い町じゃないかと思直す良くなる展開です。

但し、問題提起するドラマ部分の制作力には目を見張るものがありました。肝となる部分だけに演出力が足りないと、いかに展開が分かっているにもかかわらず陳腐な出来になります。コミカルで展開も速く、視聴者を飽きさせない演出力は、撮影・編集・音効といった技術力と相まって効果を発揮していました。東浦町の担当者がこのテーマで訴求できたのも、これらの技術力を信頼した結果でしょう。

敢えて苦言を呈すると「自虐的すぎる」という意見もありました。冒頭から5分余りこれでもかとディスる。また、BGMの楽曲の詞のもつ意味は？など、ドラマ仕立てによる演出をフォローする意味でもスタッフロールがあった方が良かったのでは。

「彼らが責任を持って作ってくれたPR」と町民が許してくれるような気がするのは私だけでしょうか。この愛知を代表する「自虐ネタからの…」で認められることを期待して、全国大会へ送り出します。

入 選

とうごうチャンネル Special Edition 夏の残照～つわものどもが夢の跡～ 東郷町

収録時間	経費	年間制作本数	放映方法
10分25秒	1,555,200円	1本	ケーブルテレビ YouTube等

◇ 審査講評

制作意図に「スタイリッシュな構成とした」とありましたが、その通りの作りで、あつという間の10分でした。そんな作りができるのも訴求（企画）力、構成力、撮影・編集・音効といった技術力、それらをコントロールする演出力があってのことです。他と比べても群を抜いた作品でした。2年続けて特選を勝ち取ってきたテーマ訴求の上手な東郷町さんらしい流石な作りでした。僅差で特選を逃すことになり残念です。

「夏の残照」にふさわしい戦い前の静けさから、アップテンポな曲で力強い選手のコメントとともにスタート。躍動感あるプロローグから町民こぞっての応援、室長のボートに賭ける町の思いを代表したコメントがテーマを表面化し、大会の準備から開会へ音楽とカットインで展開はスムーズに。漕いでいる選手に「3度の飯より」と投げかけると「インターハイ」と応える。そして派手に曲がスタートして競技に…この展開、好きです。競技をダイジェストに紹介。駆け引きやレースそのものは追わず、歌入りの楽曲と映像でボート競技をプロモーションビデオ化。もちろん各人からの、ボートからインターハイ、スポーツに対する思いを簡潔にまとめてテーマを掘り下げる。そして、暑い夏が終わり、再び静けさが…。

「ボートのまち」をアピールするには十二分な作りです。この作品は東郷町＝ボートの町としてのブランディング化にきっと役立つことでしょう。

奨励賞

ハートの絵馬 犬山市

収録時間	経費	年間制作本数	放映方法
3分41秒	481,680円	1本	YouTube 犬山市役所電光掲示板

◇ 審査講評

多くの市町が委託制作している中で、犬山市は自主制作で創作的な作品を制作。まずは例年通り、その姿勢にエールを送ります。

自主制作と言っても市職員によるものではなく、公募で集めた市民8名での制作ということで、彼らの実力、経験値はわかりませんが作品を見ると技術力は今一つというところでした。しかし、固定された構図でカメラワークも無理せず、伝えたい対象を的確に映し出し表現していました。技術より内容で勝負というところでしょうか。

何よりも素晴らしかったのが挿入歌です。オリジナル曲だと思いますが、全編その曲に乗せての展開は驚くほど、アンニュイなドラマ展開に合っていて、素に近いヒロインへの演出不足を補うに余りある効果を出していました。初め「これ何？」と思ったヒロインのアップが、「好きだった」の落ちで繰り返され、出てくるうちに、それがまるで計算づくであるかのように感じられるようにさえ思われました。歌の力は実に強い。平成は終わりましたが、あの昭和の四畳半フォークを思い出すような作品のトーンは、公募制作者の強い思いが反映したのでしょうか。

肝心の犬山のPRはというと各コーラスで、観光、名所、祭事を挿入していましたが、その映像をバックカラーに乗せず撮り切り、音楽に合わせて展開した方が、彼らカップルの思う犬山の世界観を通せたのでは。肝となった挿入歌のテロップは欲しかったです。



広報企画部門

総評

《佐藤審査員》

広報企画における評価について、しばしば思い惑うことがあります。すなわち、何を
もって優れた広報企画と評するのか？

「新規性」は重要なファクターとなり得ます。目新しさは常に人の心を惹きつけます。
しかし同時に、「普遍性」「伝統的であること」もまた人々の希求するところです。「適宜
性」に対する「意外性」、「ビッグイベント」に対する「小さな集まり」にも同様のこ
とが言えます。これらの価値観は対極にありながら正負の関係にはありません。

こうしてみると、「優れた広報企画」という軛から解放されることこそ、好企画を生み
出す秘訣なのかもしれません。

《早川審査員》

表現の手法や規模が各自治体によって全然違うこの部門は、審査が難しいというのが本
音です。今年度は特にアイデアが豊富で様々な手法があるなと感心しました。添付の画像
や動画を楽しく見させてもらいました。また、手作り感あるものも好感が持てました。

いずれの自治体も郷土の魅力を発信しようとする意気込みが伝わってきました。継続性
もどう評価するか判断が分かれたところです。マンネリ化せず前年を上回る新鮮な切り口
を追求するのは難しいですが、ぜひチャレンジしてください。

特 選

「#たはら暮らしファンと一緒にたはらの魅力を発信！」フォトブック「たはらごよみ」
田原市

○ 企画の概要

平成28年7月に開設した市公式 Instagram「たはら暮らし」。このフォロワー（田原市ファン）と連携して市のPRを図るため、Instagram上に「#たはら暮らし」で投稿されたものを集めたフォトブック「たはらごよみ」を作成した。

投稿された作品を紙媒体で発表することによって、発表願望があるフォロワーによる一層の投稿を促した。

◇ 審査講評

《佐藤審査員》

フォトブック「たはらごよみ」は、田原というまちの魅力をコンパクトな冊子に凝縮することに成功しています。「たはら暮らしファンと一緒に、たはらの魅力を発信」という、サポーターとともに作り上げる姿勢が現れたコピーそのものが、本企画の魅力になっています。

《早川審査員》

平成28年度に始まった Instagram「たはら暮らし」の発展形です。フォロワーの着実な増加、29年度は写真展、そして本年度はフォトブックが完成しました。掲載された写真は美しくレベルが高いです。ブックの質感やレイアウトも素敵に仕上がっています。定住促進の目的に沿って全国の多くの地点で配布されました。地道な活動が進んでいると思います。何より分かりやすさが良いと思いました。この先、さらに面白いアイデアでこの財産を活用できたら凄いなと期待します。

@tahara_kurashi
#たはら暮らし

たはらごよみ

12か月を写真で巡るたはら暮らし

Photobook

季節や時間によって
さまざまな表情を見せて海、
たくさんの恵みを運んでくれる大池、
そして、なにより温かい人々。



12か月で巡るたはら暮らし

インスタグラムの田原市公式アカウント

@tahara_kurashi に

「#たはら暮らし」で投稿された

一般のインスタグラムユーザーの写真から

選りすぐりのものを使い、

たはら暮らしの1年を巡り

たはらの魅力をお伝える

田原市公式フォトブック「たはらごよみ」です。

入 選

犬山市成年記念事業 犬山市

○ 企画の概要

犬山市は全国で唯一、名前に「犬」がつく自治体であり、12年に一度訪れる「成年」を絶好の機会と捉え、市の知名度向上と郷土愛の醸成を目的に、「犬」に関連する取組を実施した。

◇ 審査講評

《佐藤審査員》

成年であった平成30年に、全国でも唯一「犬」の名がつく自治体である、という独自性を絡めて展開した企画は、ユニークという視点では群を抜いています。非常に多岐にわたる企画を展開された模様ですが、企画書からその詳細や臨場感が伝わってこなかったのが惜しまれます。

《早川審査員》

平成30年の成年に「犬」が名前につく自治体として知名度アップと郷土愛を深めるために数多くのイベントを実施しました。まず、企画書の内容に圧倒されました。私も昨秋に犬山城周辺を訪れましたが、とても多くの人で賑わっており犬山市の人気の高まっているなど肌で感じました。広報企画として大成功だったと思います。イベントの内容も多岐にわたり、アイデアが豊富です。欲を言えばその中で代表的なものの写真や動画を拝見できればさらに評価が上がったと思います。

11~12月

フォトパネルで年賀状



年賀状がガラ、スマホなどで写真を撮影し、年賀状やSNSなどで新年のあいさつにもたくさん利用されました。

今年も残りあとわずか

成年を振り返る

犬山市は全国で唯一、名前に「犬」が付く自治体です。

成年を振り返る

本市の知名度向上と郷土愛の醸成を目的に、今年実施してきた成年記念事業を紹介します。

4~12月

犬山ドッグ関連事業

犬山ドッグを広く広げるため、犬山ドッグ教室や試食会を開催しました。



11~12月

愛犬フォトコンテスト



51匹の中からグランプリに決定した「こはるちゃん」の1月には一日市長として公務を行いました。

1月

新年交礼会 および 叙勲・褒章受章者祝賀会

3月

陶土で犬を作ろう

犬をテーマにした個性豊かな力作作品が並びました。

サンフレンド オンリーわんアート展



1月

犬文庫開設!



犬山に集った犬関連の本をまとめた「こはるちゃん」の1月には一日市長として公務を行いました。

1~12月

成年情報発信ステーション In郵便局

WE LOVE PET ~広げよう!つなげよう! 人と動物の絆~



市の職犬ココや仲間たちの訪問活動紹介を展示、キッズカーブスがあり多くの人がごわいました。

2月

親子で行く美術館鑑賞ツアー



ヤマザキマザック美術館へ行き、「木陽りどうぶつ美術館」はしとみおの世界」展を観賞しました。

2月

犬山シテイマラソン 第36回 「巨大お父さん像」設置



最後のシティマラソンに巨大お父さん像が出現しました!

から「丸丸君」へ平塚パトリー

5月

第16回桃太郎サミット 日本ライン犬山大会



犬山城を見上げる城前広場で新田犬を始め6犬種1匹が寄りました。

天然記念物 日本犬 全犬種総覧会



全国の地犬師に縁のある町、団体、研究者、愛好家等が集まり、発表、交流を行いました。

8月

わんちゃんのおもしろいつけ教室



おやつを獲っての楽しいトレーニング方法を学びました。

10月

鈴木しづ子 生誕百年祭 第10回いのちの俳句大会



「犬」を題材とした628句の投稿があり、大会では優秀作品の表彰と宇多喜代子さんによる講演が行われました。

11月

堀部邸 秋の企画展



犬山の狛犬の空を展示中。是非是非公開の予定。2階の特別公開が行われました。